

科目名	ほねと筋肉 2						年度	2026		
英語科目名	Bone and muscle 2						学期	後期		
学科・学年	柔道整復科 1年次		必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	秋田雄大、有山敦士、宮本功三、後藤晃弘、青木伊之、杉本知、加藤健太		教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
<b>【科目の目的】</b> 当科目では特に上肢の筋と骨折の基礎を学ぶことで医療従事者との情報共有の基礎となり、また患者やその家族に対しては丁寧な説明による自発的な理解を得るための重要な知識の一つとなります。柔道整復師としてのコミュニケーションスキルを磨くための手段として学ぶことが目的となります。										
<b>【科目の概要】</b> 上肢の筋肉と骨折の基礎を学び、幼児から老人までの患者に説明できるスキルを身につける。										
<b>【到達目標】</b> 上肢を構成する筋肉が体のどの位置にあるかを理解し、それらの関連を整理・配列し、各形態・構造及び機能を把握していくことで進行していく。人体の構造と機能が立体的に把握できるようになる。上肢の筋についての分類・特徴・起始・停止・作用・支配神経を理解・習得する。柔道整復師も業務範囲である骨折の基礎を習得する。										
<b>【授業の注意点】</b> 国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由無く欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	骨格筋の基礎的な知識を完全に理解している。	骨格筋の基礎的な知識を大体理解している。	骨格筋の基礎的な知識を部分的に理解している。	骨格筋の基礎的な知識がやや欠けている。	骨格筋の基礎的な知識について理解が不足している。					
到達目標 B	上腕の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について完全に理解している。	上腕の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について大体理解している。	上腕の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について部分的に理解している。	上腕の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項についての理解がやや欠けている。	上腕の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について理解が不足している。					
到達目標 C	前腕の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について完全に理解している。	前腕の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について大体理解している。	前腕の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について部分的に理解している。	前腕の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項についての理解がやや欠けている。	前腕の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について理解が不足している。					
到達目標 D	手部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について完全に理解している。	手部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について大体理解している。	手部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について部分的に理解している。	手部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項についての理解がやや欠けている。	手部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について理解が不足している。					
到達目標 E	骨折総論の事項について完全に理解している。	骨折総論の事項について大体理解している。	骨折総論の事項について部分的に理解している。	骨折総論の事項についての理解がやや欠けている。	骨折総論の事項について理解が不足している。					
<b>【教科書】</b> 解剖学の教科書を持参する。11回・12回・13回については柔道整復学理論編を持参する。										
<b>【参考資料】</b>										
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 試験と課題を総合的に評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ほねと筋肉2			年度	2026
英語表記		Bone and muscle 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	上腕の筋	上腕の筋を理解する。	1 筋の名称	筋の名称を理解している	3	
			2 筋の起始・停止	筋の起始・停止を理解している		
			3 筋の作用	筋の作用を理解している		
2	前腕の屈筋①	前腕の屈筋を理解する。	1 筋の名称	筋の名称を理解している	3	
			2 筋の起始・停止	筋の起始・停止を理解している		
			3 筋の作用	筋の作用を理解している		
3	前腕の屈筋②	前腕の屈筋を理解する。	1 筋の名称	筋の名称を理解している	3	
			2 筋の起始・停止	筋の起始・停止を理解している		
			3 筋の作用	筋の作用を理解している		
4	前腕の伸筋①	前腕の伸筋を理解する。	1 筋の名称	筋の名称を理解している	3	
			2 筋の起始・停止	筋の起始・停止を理解している		
			3 筋の作用	筋の作用を理解している		
5	前腕の伸筋②	前腕の伸筋を理解する。	1 筋の名称	筋の名称を理解している	3	
			2 筋の起始・停止	筋の起始・停止を理解している		
			3 筋の作用	筋の作用を理解している		
6	前腕の伸筋③	前腕の伸筋を理解する。	1 筋の名称	筋の名称を理解している	3	
			2 筋の起始・停止	筋の起始・停止を理解している		
			3 筋の作用	筋の作用を理解している		
7	振り返り	後期1回～6回までの講義を振り返る。	1 上腕の筋	上腕の筋について理解する。	3	
			2 前腕の屈筋	前腕の屈筋について理解する。		
			3 前腕の伸筋	前腕の伸筋について理解する。		
8	母指球筋	母指球筋について理解する。	1 筋の名称	筋の名称を理解している	3	
			2 筋の起始・停止	筋の起始・停止を理解している		
			3 筋の作用	筋の作用を理解している		
9	小指球筋	小指球筋について理解する。	1 筋の名称	筋の名称を理解している	3	
			2 筋の起始・停止	筋の起始・停止を理解している		
			3 筋の作用	筋の作用を理解している		
10	中手筋	中手筋を理解する。	1 筋の名称	筋の名称を理解している	3	
			2 筋の起始・停止	筋の起始・停止を理解している		
			3 筋の作用	筋の作用を理解している		
11	骨折総論①	骨損傷の概説を理解する。	1 骨の構造	骨の構造を理解している。	3	
			2 骨損傷の概説	骨損傷の概説について理解している。		
			3 骨損傷の外力	骨損傷の外力について理解している。		
12	骨折総論②	骨折の分類を理解する。	1 骨折の分類	骨折の分類を理解している。	3	
			2 骨折の種類	骨折の種類を理解している。		
			3 骨折の特徴	骨折の特徴を理解している。		
13	骨折総論③	骨折の症状を理解する。	1 一般外傷症状	一般外傷症状について理解している。	3	
			2 骨折の固有症状	骨折の固有症状について理解している。		
			3 骨折の全身症状	骨折の全身症状を理解している。		
14	振り返り	後期8回～13回までの講義を振り返る。	1 母指球筋、小指球筋	母指球筋、小指球筋について理解する。	3	
			2 中手筋	中手筋について理解する。		
			3 骨折総論	骨折総論について理解する。		
15	総まとめ	後期の講義内容を総括する。	1 上腕・前腕の筋	上腕・前腕の筋について理解する。	3	
			2 手部の筋	手部の筋について理解する。		
			3 骨折総論	骨折総論について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等